

債権回収の手続き (一般)

08年1月21日

畔 柳 達 雄

1、一般的な手続きについて

- ・ 電話 (通信媒体) 催促 ; 時刻、不在
- ・ 文書催促
 - 通常郵便
 - 簡易書留郵便 ; 不在、拒否
 - 内容証明郵便 ; 不在、拒否
- ・ 直接催促・取り立て

2、裁判所の手続きについて ; 送達の問題

- ・ 督促手続 (簡裁) ; 職員代理人 (裁判所の許可)
- ・ 訴訟 (簡裁) ; 同上
 - 通常訴訟 (140万円を超えない)
 - 少額訴訟 (1件60万円、年10回まで)
- ・ 調停手続 (簡裁)
- ・ 通常訴訟 (地裁) ; 弁護士代理人 判決より和解 (分割弁済)

3、強制執行 ; 送達の問題、費用の問題

- ・ 仮差押え (財産がある場合)
 - 動産
 - 債権
 - 不動産

- ・本執行

4、専門家による少額債権回収の奥義—カードローンの場合

- ・ 電話による回収が基本
- ・ 支払者についての情報を克明に記載させる；自宅、勤務先、家族関係、携帯電話、メールなどを含む
- ・ 不払いが起きたら直ちに連絡する
- ・ 払え払えといわないで、払えない事情をやさしく聞く。そのうえで分割払いに応じてあげる
- ・ 電話のやり取りを常に録音しておく

5、結論

2と3の手段は、サラ金業者のようなプロにとって役立つが、素人には役立たないのが実体。

以上